

2014 年度 研究助成成果報告

ガイドッドセルフヘルプの概念を用いた摂食障害治療の効果研究

発達臨床学科 西園 マーハ 文

研究目的

当事者の治療動機が必ずしも高くない摂食障害の治療において、当事者本人の治療動機を高めつつ治療参加を促す手法はきわめて重要である。神経性過食症については、海外では、認知行動療法の治療効果エビデンスが知られているが、その第一段階として、ガイドッドセルフヘルプの手法が用いられている。日本では、認知行動療法の治療者が少ないため、認知行動療法の考え方を取り入れながら、日本の医療システムに合った治療法を開発することが急務である。本研究では、ガイドッドセルフヘルプ概念を取り入れ、単科精神科病院の多職種チームの機能を生かした短期入院治療プログラムを開発し、その効果を検証した。

対象と方法

関東地方の単科精神科病院 A 病院において、ガイドッドセルフヘルプの概念を用いた過食症短期（4 週間）入院プログラムを開発し、多職種チームでの援助を行った。神経性過食症あるいは過食性障害（アメリカ精神医学会 DSM-5）に該当し、プログラムを完了した 10 名と、同時期に外来での一般治療を受けた 10 名について、治療前後のさまざまな症状尺度の比較を行った。

結果と考察

2 要因の分散分析により、入院プログラム群と外来群との症状尺度得点の比較を行った。表 1 に比較の結果を示す。入院群では過食症質問票 (Bulimic Investigatory Test, Edinburgh: BITE) の症状尺度、摂食障害質問紙 (Eating Disorder Inventory-2 : EDI-2) の身体不満足、無力感、成熟恐怖などのサブスケール得点、バック抑うつ質

問票 (BDI- II) での抑うつ得点などの有意な減少が認められたが、これらの効果は外来群では観察されないものであった。入院による過食の機会の減少というだけではなく、心理的な症状にも改善が認められたことは有意義である。昨年度は、入院プログラム群の前後の効果を確認したが、今年度の結果により、入院プログラムには、外来一般治療群と比較において、有意の効果があることが認められた。短期であっても、入院により生活の規則化を行いながら、ガイドッドセルフヘルプの概念に基づいて症状コントロールを行う方法は有効だと考えられた。

表 1 治療前後の質問紙得点

	入院プログラム群			対照（外来）群		
質問紙	治療前 平均値 (SD)	治療後 平均値 (SD)	p	治療前 平均値 (SD)	治療後 平均値 (SD)	p
BITE 症状尺度	25.8 (2.3)	16.7 (8.6)	0.008**	21.7 (3.5)	22.3 (4.1)	0.343
BITE 重症度尺度	12.1 (4.8)	4.6 (4.5)	0.010*	10.9 (3.6)	9.6 (3.8)	0.070
EAT	39.6 (12.3)	23.2 (18.4)	0.002**	25.5 (9.9)	25.0 (15.1)	0.883
EDI-2 やせ願望	15.0 (5.1)	11.7 (6.6)	0.163	10.4 (5.6)	11.6 (6.1)	0.133
EDI-2 過食	16.4 (3.8)	8.6 (7.5)	0.002**	14.6 (4.2)	13.4 (5.1)	0.018*
EDI-2 身体不満足	22.3 (6.8)	16.0 (8.3)	0.014*	18.0 (6.8)	17.7 (7.2)	0.722
EDI-2 無力感	22.0 (2.9)	13.8 (8.2)	0.008**	17.1 (8.0)	16.3 (8.3)	0.565
EDI-2 完全癖	6.1 (4.0)	4.3 (3.1)	0.078	3.4 (3.0)	4.1 (4.0)	0.191
EDI-2 対人不信	8.1 (3.1)	7.4 (6.4)	0.683	9.7 (6.9)	7.8 (6.0)	0.112
EDI-2 内的感情気づき	15.7 (8.5)	10.7 (8.8)	0.074	15.0 (9.7)	15.6 (9.7)	0.741
EDI-2 成熟不安	9.5 (5.2)	7.4 (6.4)	<0.000**	6.0 (4.6)	5.5 (3.5)	0.622
EDI-2 禁欲主義	11.1 (3.5)	7.8 (3.9)	0.051	8.4 (3.8)	8.0 (3.6)	0.653
EDI-2 衝動制御	11.3 (7.6)	7.4 (8.6)	0.060	9.7 (6.6)	11.2 (8.9)	0.307
EDI-2 社交不安	12.3 (2.9)	7.9 (5.8)	0.005**	13.6 (5.3)	12.5 (5.0)	0.129
CIA	33.7 (5.3)	13.0 (6.9)	0.002**	28.7 (8.3)	25.7 (7.6)	0.089
STAI 状態不安	55.6 (4.7)	47.1 (15.4)	0.101	59.0 (9.7)	57.2 (12.5)	0.569
STAI 特製不安	60.0 (24.8)	53.8 (15.5)	0.032*	65.4 (7.4)	62.9 (11.1)	0.446
BDI-2	30.9 (14.5)	19.2 (14.8)	0.024*	34.2 (9.8)	31.3 (9.9)	0.065

質問紙については本文参照

* p<0.05

** p<0.01